

# 最近のモルディブ情勢と日モ関係

モルディブ概要 . . . . . 1

モルディブ政治・経済情勢 . . . . . 2

最近の日モルディブ関係 . . . . . 3

2022年2月  
外務省

# モルディブ共和国

## ●民主主義定着途上の穏健イスラム国

...2004年以来民主化改革を促進。2018年9月に大統領選挙が行われソーリフ政権が発足。

## ●伝統的な親日国

...長年の主要援助国。多くの国際場裡で支持。日本人観光客も多数。2019年10月大統領訪日。

## ●地政学的な重要性

...シーレーン上の戦略的要衝に位置。

## ●気候変動・自然災害に対する脆弱性

...環礁国で、気候変動や津波等の自然災害に脆弱。

\* 人口: 53.4万人(2019年:モルディブ統計局)  
(内訳は、モルディブ人37.3万人、外国人16.1万人)

\* 面積: 298 km<sup>2</sup> (全島総計。東京23区の約半分。)  
・約1200の島から成り、その内約200が有人島。  
・首都のマレ島の面積は1.956km<sup>2</sup>

\* 穏健イスラム教国: イスラム教が国教(スンニ派)

\* GDP成長率: 31.6%(2021年:モルディブ中央銀行(MMA))  
・2018年:8.1%、2019年:6.9%、2020年:-33.5%

\* 一人当たりのGNI: 9,359ドル(2019年:世銀資料)

\* 政治体制...共和制  
・元首:イブラヒム・モハメド・ソーリフ大統領  
・国会:一院制(87議席)

\* 産業...観光、水産業  
・日本人観光客は年間約4万人

\* 外交...非同盟中立  
小島嶼国連合(AOSIS)議長国(2015~2018)

\* 在留邦人...137名(2021年:外務省海外在留邦人調査統計)

\* 日系企業総数(拠点数)...9(2020年:外務省海外在留邦人調査統計)

\* 気候変動...平均海拔1.5m



# モルディブ政治・経済情勢

## 民主化の進展



ガユーム元大統領  
1978年～2008年  
モルディブ進歩党(PPM)



ナシード元大統領  
2008年～2012年  
モルディブ民主党(MDP)  
(現国会議長)



ワヒード元大統領  
2012年～2013年11月  
国民連合(NA)



ヤーミン前大統領  
2013年～2018年  
モルディブ進歩党(PPM)

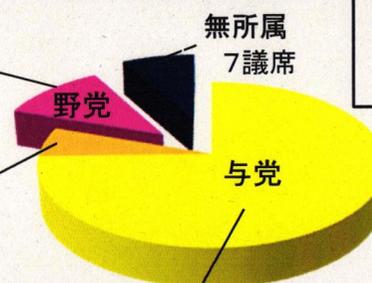


ソーリフ大統領  
2018年11月17日就任  
モルディブ民主党(MDP)

モルディブ進歩党(PPM)  
人民国民会議(PNC)  
モルディブ開発連合(MDA)  
10議席

共和党(JP)  
5議席

モルディブ国会の議席配分



モルディブ民主党(MDP) 65議席

一院制、全87議席、任期5年、  
直接選挙(小選挙区制)  
(2019年5月)

- ガユーム大統領が1978年から2008年までの6期30年間、独裁的政治体制を維持し、観光立国として成長。ガユーム体制への批判の高まりを受け、2004年以降民主化改革が行われ、2008年に民主的な憲法を制定。
- 2008年の大統領選挙でモルディブ民主党(MDP)のナシード会長が新大統領に選出された。2009年議会選挙でMDPは過半数獲得に失敗し、政情不安定化。2012年2月ナシード大統領が辞意表明。憲法に従いワヒード副大統領が大統領に就任したが、与野党間の衝突事案も発生、治安が一時悪化。
- 2013年11月、ヤーミン大統領が就任。2014年3月、議会選挙で、連立与党が勝利。任期満了を控え2018年9月、大統領選挙実施。同年11月、選挙に勝利したソーリフ氏が大統領に就任。2019年4月、議会選挙が実施され、与党MDPが3分の2以上の議席を獲得し大勝。

## 最近のモルディブ外交

- 基本的に非同盟中立。全ての国との良好な関係維持に努めている。  
ヤーミン前政権下の2016年10月に英連邦を脱退したが、2020年2月、ソーリフ現政権の下で英連邦に復帰。
- 気候変動、環境保全、人権に注力。
- 2021年9月よりシャーヒド外相が国連総会議長に就任。
- モルディブの在外公館は計16公館。大使館:13(バングラデシュ、英国、インド、マレーシア、パキスタン、シンガポール、スリランカ、中国、日本、サウジアラビア、UAE、独、タイ)、代表部:3(国連、EU、ジュネーブ)。
- モルディブに大使館を設置している国は9カ国(インド、中国、バングラデシュ、スリランカ、パキスタン、サウジアラビア、日本、UAE、英)

## 最近のモルディブ経済

- 経済の基盤は観光業と水産業。コロナ禍により観光業が打撃を受け2020年のGDP成長率は-33.5%と大きく落ち込んだが、2021年は31.6%のプラス成長に転じた。観光業はGDPの26.3%<sup>(2)</sup>を占める主な外貨獲得源。水産業はGDPの4.7%<sup>(2)</sup>であるが、雇用の6.9%、輸出産品の96%を支える重要産業<sup>(3)</sup>。
- 一人当たりのGNIは南アジア最大(9,359ドル<sup>(4)</sup>)。2011年に後発開発途上国(LDC)を卒業。

(1)2020年:MMA、(2)2019年:「モ」統計局、(3)2018年:「モ」税関、(4)2019:世銀。

# 最近の日モルディブ関係

## 日モルディブ関係の流れ

- 2017年に外交関係樹立50周年を迎えた。2007年、駐日大使館開設(東アジア初。日・モ40周年)、2016年1月、在モルディブ日本国大使館開設。
- 要人往来:2014年4月ヤーミン大統領訪日(「モ」大統領の初の公式訪問)、2017年11月アーシム外相訪日、2017年11月堀井巖外務大臣政務官訪モ(外交関係樹立50周年記念式典)、2018年1月河野外務大臣訪モ、2018年6月アーシム外相訪日及び第1回日・モルディブ政策対話実施、2018年11月竹下亘総理特使の訪モ(大統領就任式)、2018年12月蘭浦総理補佐官訪モ、シャーヒド外相他2大臣訪日、2019年4月鈴木政務官訪モ(選挙監視団)、2019年6月蘭浦補佐官訪モ、2019年9月阿部副大臣訪モ(インド洋会議)、2019年10月ソーリフ大統領、シャーヒド外相訪日(即位礼正殿の儀他)、2021年8月シャーヒド外相訪日(次期国連総会議長として)。

## 経済・経済協力

- 1985年以来モルディブにとって最大の二国間援助供与国の1つ(出典:OECD)
  - 小学校改築支援、マレ島護岸工事、青年海外協力隊員の活動は特に高い評価。
  - 2004年の津波復興のため2006年に初の円借款を供与。
  - 2016年10月、日本方式地上デジタルテレビに関する無償資金協力のE/N署名。
- コロナ前は年間約4万人の日本人観光客がモルディブ訪問(2018年:42,304人)
  - 日本・モルディブ間の貿易額は約29.9億円(2019年財務省)。

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2015年		5.10	3.65
2016年		36.42	2.67
2017年		-	1.94
2018年		6.19	0.81
2019年		10.62	2.78
累計	27.00	339.07	81.39

(交換公文ベース、JICA経費実績ベース)(単位:億円)

	モルディブの主な貿易相手	モルディブの対日貿易額・主な品目
輸出	タイ、米、中国、仏	3.5億円 魚介類(カツオ、マグロ等)
輸入	UAE、中国、シンガポール、印	26.4億円 機械類及び輸送機器

(2019年:世銀)

(2019年:財務省)

## 津波被害支援

- 2004年のインド洋大津波に際し日本が無償資金協力で建設した防波堤がマレ島を深刻な被害から守ったとして2006年にモルディブ政府より日本国民に対し「グリーン・リーフ賞(環境賞)」が授与された。
- 東日本大震災に際し、国営テレビにて寄付を募る24時間テレビが放送され、集まった義援金を元にして、約70万個のツナ缶を支援物資として提供。



(1987~2002年の15年間をかけ、首都マレ島の高潮対策事業を実施。マレ島全周6kmにわたり護岸を建設。)

## 国際場裡

- 多くの国際機関選挙・決議等で我が国を支持(我が国の安保理常任理事国入りも支持)

## 防衛協力

- 過去20年以上に亘りPKO関連活動や海賊対処派遣部隊への物資輸送のため、自衛隊機がマレ空港を利用。2012年7月2日に海上自衛隊遠洋練習艦隊がマレ初寄港。

## 1 概要

- 6月7日、在京モルディブ大使館を通して、モルディブ政府からワクチン提供の要請あり。
- 6月22日、日・モルディブ外相電話会談にて、**シャーヒド外相から茂木大臣に対し、改めてワクチン供与要請あり。**
- 7月13日、日本からモルディブに対するアストラゼネカ社ワクチン約10万回分の供与を茂木大臣が記者会見で発表。
- 8月22日、11万2千回分のワクチンがモルディブに到着。

## 2 モルディブ政府の反応

- 8月22日、**ナシーム保健大臣、マヒール保健担当国务大臣、アブデルガフル外務次官等、多くの政府要人**参列のもと、**引渡式が開催された。**同式典で、**ナシーム保健大臣は日本は常に寄り添い、支援の手を差し伸べてくれる友好国であると述べ、謝意を表明。**
- 同22日、**シャーヒド外相**（海外出張中）、**マブルーク大統領報道官**はツイッターで日本の支援に対する**謝意**を即座に掲載。

## 3 メディア・世論の反応

- 現地主要紙(14社)**は一斉に日本のワクチン供与を記事で扱うとともに、**好意的な反応を掲載。**引渡式では、**現地テレビ局8社**が取材に入り、うち**3社がインターネット生中継**を実施し、**日本の支援に対する関心の高さ**が示された。
- モルディブ外務省の報道発表に続き、モルディブ政府要人のツイッターへの「いいね」やリツイートが行われている。



引渡式（柳井大使とナシーム保健大臣）

Japan donates 112,000 doses AstraZeneca vaccines to the Maldives through COVAX

Japan donates 112,000 doses AstraZeneca vaccines to the Maldives through COVAX

Published : 22 August 2021  
Last updated : 22 August 2021

From Ministry of Foreign Affairs  
Available Languages: Dhivehi, English

Japan has donated 112,000 doses of the AstraZeneca COVID-19 vaccines to the Maldives through the WHO Covax Facility, as part of Japan's "Last One Mile Support" initiative. His Excellency Ahmed Naseem, Minister of Health, received the vaccines on behalf of the Government of Maldives at a ceremony held today at the Ministry of Foreign Affairs.

Speaking at the ceremony, Minister Naseem thanked the Government of Japan for their generous donations, not only in providing the vaccines but also in donating medical equipment, medical supplies and other assistance given to the Maldives and the Maldivian people throughout the pandemic. He mentioned that this donation of AstraZeneca vaccines will contribute towards the Government's efforts to continue vaccination across the country and will support the goal of completing the vaccination programme for the entire eligible population.

### モルディブ外務省報道発表

日本からの新型コロナウイルスに対する寛大な支援への感謝を掲載

日本のワクチン供与に感謝。この支援はワクチン計画を完了に導く。

**Abdulla Shahid**  
@abdulla\_shahid

Thank you, Gov't & the People of #Japan for the donation of 112k doses of AstraZeneca vaccine through COVAX, as part of Japan's "Last One Mile Support".

This donation will contribute towards completing the vaccination prog. for the entire eligible population of @Moteging



午後7:49 2021年8月22日 Twitter for iPhone

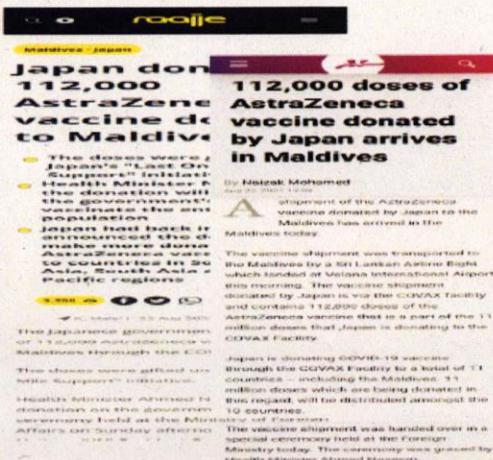
**Mabrook Azeez**  
@MvSpokesperson

Thankyou Japan! 🇯🇵 🇲🇻  
Japan has been a close friend of Maldives since I can remember.

From the iconic breakwater barrier, to continuous help during all major crisis, to technical and technological support and aid, Japan has been a friend when ever Maldives was in need.

日本に感謝！日本は記憶の限りの親友であり、モルディブが必要とする時に助けてくれる。

### シャーヒド外相とマブルーク大統領報道官による謝意ツイート



主要紙での報道多数

# イブラヒム・ウエイズ・駐日モルディブ大使

H. E. Mr. Ibrahim Uvais



1. 氏 名：イブラヒム・ウエイズ  
(Mr. Ibrahim Uvais)

2. 生年月日：1976年9月28日（45歳）

3. 学 歴：フリンダース大学（豪）学士（商学士号）  
ウエスタン・シドニー大学（豪）修士（経営学修士号）  
マルタ大学（マルタ）修士（現代外交修士号）  
モナーシュ大学（マレーシア分校）経営学・商学研究生  
課程（1年）終了

4. 経 歴：

1995年	大統領府外交関係課事務官補
2000年	大統領府財務課官房事務官
2003年	大統領府経済政策課課長補佐
2006年	在マレーシア・モルディブ高等弁務官事務所一等書記官
2009年	マレーシア モナシュ大学 大学院研究
2010年－現在	ディプロファウンデーション（民間教育団体）コーディネーター及びオンライン講座共同講師
2015年	パビリオン・アセッツ社（マレーシア）コンサルタント
2018年	駐日モルディブ大使として着任（信任状奉呈は同6月）

5. 家族構成：既婚、子供1

6. 使用言語：ディベヒ語（母国語）、英語

7. 趣味：ハイキング、バドミントン、読書

（了）

略 歴

氏 名 たけ うち 竹 内 みどり  
性 別 女  
生年月日 昭和33年11月13日生  
最終学歴 慶應義塾大学法学部政治学科卒業（昭和57年3月）  
採用試験 昭和56年外務省専門職員採用試験  
出身地 長野県

昭和57. 4 外務省入省  
平成17. 6 経済局経済連携課（アジア欧州協力室） 首席事務官  
19. 6 大臣官房国内広報課 首席事務官  
22. 9 在デトロイト日本国総領事館 領事  
25. 4 会計検査院事務官 事務総長官房調査課国際業務室長  
28. 4 外務事務官 外務省研修所指導官  
// 外務省研修所総括指導官  
30. 11 在デンバー日本国総領事館 総領事  
令和 3. 9 大臣官房  
11 特命全権大使 モルディブ国駐節

アブドゥラ・シャーヒド  
モルディブ共和国・外務大臣  
第76回国連総会議長  
(H.E. Mr. Abdulla Shahid,  
Minister of Foreign Affairs  
of the Republic of Maldives,  
President of the 76<sup>th</sup> Session of the  
United Nations General Assembly)



アブドゥラ・シャーヒド外務大臣の略歴・人となり

- (1) 生年月日：1962年5月26日生まれ（59歳）
- (2) 出生地：マレ
- (3) 学歴：豪州キャンベラ大学卒（学士号：政治学、経済学）、米国タフツ大学フレッチャー法律外交大学院修了（修士号：国際関係論）
- (4) 経歴：
  - 1983年－ 外務省入省
  - 1994年－ 国会議員
  - 2005年－ 外務担当国務大臣
  - 2007年－ 外務大臣
  - 2009年－ 国会議員
  - 2009年－2013年 国会議長
  - 2018年11月－ 外務大臣
  - 2021年9月－ 第76回国連総会議長
- (5) 使用言語：ディベヒ語、英語
- (6) 訪日歴・会談歴：2007年8月、宮澤元総理葬式参列
  - 2018年12月、財務相、経済開発相とともに訪日
  - 2019年10月、茂木大臣と外相会談を実施  
(即位礼正伝の儀の際に大統領に同行)
  - 2020年8月、茂木大臣と会談を実施  
(次期国連総会議長として訪日)

(了)

モルディブ・日本友好議員連盟メンバーリスト

	氏名	選挙区	環礁	役職	政党
1	 アフマド・ハールーン	マナドゥ	ヌーヌ	会長	モルディブ民主党 (MDP)
2	 ムハンマド・アブドゥラ・シャフィーク	ヴェリドゥ	ヌーヌ	副会長	モルディブ民主党 (MDP)
3	 ジャムシード・ムハンマド	南クルドゥフシ	ハー・ダール		モルディブ民主党 (MDP)
4	 アフマド・サイード	ゲマナフシ	ガーフ・ダール		モルディブ民主党 (MDP)
5	 アリー・アージム	中央ヘンベイル(マレ)	カーフ		モルディブ民主党 (MDP)
6	 アブドゥラ・サニーフ	南ティナドゥ	ガーフ・ダール		モルディブ民主党 (MDP)
7	 ムーサ・シラージュ	フォナドゥ	ラーム		モルディブ民主党 (MDP)
8	 イブラヒム・ムイッズ	北ヘンベイル(マレ)	カーフ		モルディブ民主党 (MDP)
9	 アフマド・イーサ	ケンディコルドゥ	ヌーヌ		モルディブ民主党 (MDP)
10	 ムハンマド・ラシード・フセイン	アリフシ	ラー		モルディブ民主党 (MDP)
11	 アフマド・シヤーム	ナイファル	ラヴィヤニ	(前会長)	モルディブ進歩党 (PPM)
12	 ムハンマド・シャーヒド	フナドゥ	シャヴィヤニ		モルディブ民主党 (MDP)

アフマド・ハールーン モルディブ・日本友好議員連盟会長  
Ahmed Haroon  
Member of Parliament Manadhoo Consituency

氏名 アフマド・ハールーン  
Ahmed Haroon



所属政党 モルディブ民主党(MDP)

生年月日 1982年3月23日, ヌーヌ環礁生まれ(39歳)

学歴 2011年 印プネ大学卒  
(学士号:経営学部・国際経営学部)  
2015年 英国カーディフ・メトロポリタン大学大学院経営学研究科卒  
(修士号:経営学)

経歴 2004年 モルディブ関税局 (Maldives Customs Service)  
2011年 保税倉庫部門副部長  
2016年 人事部担当 最高関税責任者 (Chief Customs Officer)  
2017年 退職  
2019年5月 国会議員当選(現職)ヌーヌ環礁マンドゥ地区  
モルディブ民主党(MDP) 党员

業績 2006年 税関および麻薬に関するセミナー(印デリー)  
2013年 韓国税関局セミナー:アジアの関税管理の近代化  
2016年 Certificates of Merit 2016(世界関税機構)

(了)